

熊本大学大学院生命科学研究部公衆衛生学分野では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる患者さんがインフォームドコンセントを受けない場合において、研究の目的を含む研究実施についての情報を公開することが必要とされております。利用する情報からは、お名前、住所など直接個人を特定できる情報は削除します。また研究成果は学会や雑誌等で発表されることがありますが、その際も個人情報やプライバシーにかかわることは一切公開されません。本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までご連絡下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に ご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。また本研究は、診療によって得られたデータを使用するため研究費は生じません。本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の承認を得ております。今後も、当該研究経過を熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

研究課題名： 気象と緊急手術発生の関係性の検討

(熊本大学大学院生命科学研究部倫理審査委員会：承認番号 1559 号)

研究責任者：熊本大学大学院生命科学研究部 公衆衛生学分野

熊本赤十字病院 第二麻酔科部

井上克一

研究期間：2018年9月12日～2023年3月31日

研究目的と意義： 日々の手術室業務において、感覚的に前日より気温が急激に低下しているために心臓血管、脳血管などの緊急手術が施行されるかもしれない、天気が雨なので緊急手術は少ないなどと思い、実際に予感が的中することが多いのではないかと思われる。これまで気象の変化と疾患の関係についての報告は多く認められる。しかしながら、気象の変化と緊急手術発生の関係についての報告は数少ない。そこで我々は、気象と緊急手術発生の関係性について検討を行う。緊急手術発生の予測に有用な情報になるかもしれない。

患者さん、ご家族の方へ(研究方法について)

●対象になる方

熊本赤十字病院で2008年1月から2017年12月の間に緊急手術を受けた方。

●利用するカルテ情報

各診療科別の緊急手術の発生頻度(何科の手術が行われたか)のみデータの収集を行います。手術情報も指紋認証で入退室が必要な熊本赤十字病院麻酔科医室で管理します。また、データを入力するパソコンにはパスワード設定を行い、研究者以外は閲覧できないようにします。

●方法

各診療科別の緊急手術の発生頻度と熊本地方気象台の気象データの関係について検討を行います。気象データは、熊本地方気象台発表の1日平均気圧・降水量・平均気温・平均湿度・平均風速・日照時間と前日の平均気圧・平均気温・平均湿度・日照時間の差を用います。

熊本赤十字病院で2008年1月から2017年12月の間に緊急手術を受けた方で、手術の情報(何科の手術が行われたか)を研究に使用されたくない方は、ご遠慮なく下記までご連絡をお願い致します。参加を拒否されても一切患者さんに不利益は生じません。

お問い合わせ先:

熊本赤十字病院 第二麻酔科部 井上克一
〒861-8520 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号
TEL : 096-384-2111 FAX : 096-384-3939

熊本大学大学院 生命科学研究部 環境生命科学講座 公衆衛生学分野 井上克一
〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL : 096-373-5112 (直通) FAX : 096-373-5113